

平成27年度7月定例記者会見 会見録

日時 平成27年7月22日（水）午後2時30分～3時

場所 市役所2階第1特別会議室

（市長）

はじめに、7月9日からアメリカで行われました全米女子オープンゴルフについてでございます。この大会には、南区の鵜野森中学校3年生の山口すず夏選手が、日本人女子史上最年少となる14歳で出場されました。予選のみの挑戦となりましたが、この世界最高峰の大会に出場したこと自体がすばらしい快挙でございます。山口選手は、これから大きく羽ばたく可能性を十分に秘めております。ますます腕を磨いていただき、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、金メダル獲得を目指していただきたいと思います。また、みんなで応援してまいりたいと思っております。

次に、都市再生緊急整備地域の拡大についてでございます。橋本駅及び相模原駅周辺地区を核とした一体的なまちづくりを進めていくため、国に対しまして、この地域を緊急、かつ、重点的に市街地の整備をすべき地域として指定していただくよう申し出をしておりましたが、昨日、正式に閣議決定されたところでございます。このことによりまして、容積率等が緩和されるなど、既存の土地利用規制にとらわれず、まちづくりを進めることができるようになります。さらに、事業認可の手続き期間を短縮できるほか、事業所が進出しやすくなるような仕組みをつくることが可能となります。今後とも、本市のポテンシャルを最大限に活用した新たなまちづくりを戦略的に、かつ、着実に進めてまいりたいと考えております。

次に、これから行われる本市の夏祭りや花火大会についてでございます。今週末の7月25日、26日には、江戸末期から伝わる伝統と歴史を誇り、神輿と山車で華やかな上溝夏祭りが行われます。また、ユニークな竹飾りが有名な橋本七夕まつりは、8月7日から9日までの3日間、開催されます。また、花火大会につきましては、さがみ湖湖上祭花火大会が8月1日、相模原納涼花火大会が、8月22日にそれぞれ開催されます。ご都合がございましたら、ぜひ、取材をお願いいたします。

最後になりますが、市議会議員選挙の事務処理についてでございます。既に、市選挙管理委員会から発表されておりますが、4月に行われました統一地方選南区市議会議員選挙におきまして、白票数を少なく集計するという不適切な事案がございました。選挙は民主主義の根幹であり、公正、かつ、厳正に行われるべきものでございます。市職員が起こした事案で市民の皆様をはじめ関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

私からは以上でございます。

(記者)

JR東海のリニア中央新幹線・神奈川県内中心線測量作業が近々行われます。地元住民の方の中には、「市が市民の意見をあまり聞かない。寄り添った対応をしていただけない」という声もあります。今後、地元住民の方とはどのように向き合っていく考えですか。

(市長)

リニア中央新幹線の整備につきましては、以前から地域の分断、発生残土の処理、地下水など様々な課題があり、地域の皆様もいろいろご心配されているものと思います。当該事業者であるJR東海はこれまで、地域の皆様にご理解いただけるよう説明会を設けてきたと思います。事業が始まりましたが、地元自治体である神奈川県や相模原市、特に、本市は市内に駅が設置されるほか、変電所や車両基地も設置されますので、地域の皆様の不安がなくなるよう、地域の皆様の声をできる限り事業者届けるとともに、地域の皆様にご理解いただけるよう事業者との間に立ち、調整したいと思います。

中心線測量などの作業につきましては、自治会をはじめ、地域の方にご理解をいただきながら作業を進めているものと承知しておりますが、この作業がすべてではありません。地域の皆様が以前から不安に思われている発生残土の運搬をはじめとする諸課題が、事業開始にあわせて発生することも想定されますので、市としてもしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

(記者)

6月から約1カ月半の間に大きな不祥事が3件もありました。綱紀肅正をはじめ、職員一人ひとりに対してどのように対応されますか。

(市長)

事務処理にあたっては、日頃から適切な事務執行を徹底しており、市民の皆様からの信用を失うことのないよう、研修の実施による職員の人材育成や幹部職員に対して訓示等を行ってきました。また、こうした中でも軽微な事務処理のミスが発生した場合には、その都度、担当部局に原因の調査や再発防止のための事務の見直しなどの指示をしておりましたが、このたび、公共下水道に関する不適切な事務、生活保護費に係る公金の着服など、市民の皆様からの信用を失墜する不適切な事案が発生しました。

お話しのとおり、不適切な事案が続いておりますが、これは日常の業務に対する慣れといいますか、本来、適切な確認を行いながら行うべき事務を、いわゆる流れ作業で行い、ミスや不正などを見過してしまったものと考えております。詳細な調査が終わらないとわかりませんが、ここで発生した事案は、本来、適切なチェックをしていれば、起こらなかった事案だと考えております。このため、現在、全局長に指示し、市業務全体の事務処理のあり方や流れなどの見直しをしておりますので、できる限り早く対応してまいりたいと考えております。また、下水道の問題につい

ては、今、実施している行政監察の中で、どのような処理が行われていたのか、検証、原因究明し、8月中には結果を出したいと考えております。

今回の不適切な事案については、日頃、事務を行う中で緊張感のない事務執行を行った結果だと考えておりますので、市業務全体を見直すとともに、下水道事務に関する行政監察の結果を踏まえ、市の事務がどうあるべきか、もう一度しっかりと検証し、その上で適切な指示をしてまいりたいと考えております。

(記者)

南区市議選の問題で、白票数を操作するという考えられない行為を行った南区選挙管理委員会事務局の職員は、市職員でもあることから市長はどのように考えていますか。

(市長)

選挙は、選挙管理委員会が所管する事務ではありますが、今回の該当職員は市職員でもあり、市長として責任を十分に感じております。選挙は、民主主義の根幹をなすもので、票を操作するという事はあってはならない行為でございます。さきほどの事案もそうですが、多くの市民の皆様が不信感を抱くものであり、行政への信頼を損なう行為だと思います。現在、調査を行っており、現時点で確定したことはお話しできませんが、これまでの報告では、開票作業に時間がかかったため、早く終了させたいという考えから、選挙の大勢に影響が少ないという判断のもと、白票を操作したとのことです。これは、あってはならない判断であり、その行為の重大性、罪の意識などの認識が薄れていたのではと思っております。また、このような認識については、選挙事務だけではなく、他の不適切な事案についても同様だと思います。組織、または、上司が適切な判断をした上で事務処理しなければならないところ、担当者が安易に判断し、処理した結果、このような不祥事につながったものだと思います。事務執行の基本を怠った結果であるとともに、気の緩みもあったと思います。悪意があったのであれば、厳しい対応も必要です。日頃、事務執行をする中で、深く考えず、安易に処理しているのであれば、今後は、気を引き締め取り組んでもらうとともに、原点に立ち戻り、基本的な部分を怠ることのないよう意識改革をすることが必要だと思っております。

(記者)

今の市職員は、以前の市職員と比べて消極的な印象を受けます。今回の事案は言い換えれば、「前向きな不祥事」ではなく「後ろ向きな不祥事」だと思います。犯罪はいけませんが、一生懸命やった結果、前のめりに失敗したのならば、次に生かすこともできます。また、組織全体が萎縮しているような印象も受けます。先日、担当課に対して、基本的なことを取材したところ、応対した職員が答えられないということがありました。間違ったことを説明したことで責任問題もあるのかもしれませんが、質問したことは簡単なことなので、十分答えられたと思います。

(市長)

過去も含め自治体の事務は、市民の皆様の信頼を欠くようではいけません。仕事に取り組む姿勢として、担当業務は、自ら責任を持って行うべきだと思います。現在の職員も責任を持って取り組んでいるとは思いますが、昔の職員と比較すると、市民の皆様のための仕事に対し、責任を持って行うという意識に少し違いがあるのかもしれない。私が職員だった時にも、事件や事故、事務処理のミスもあったかと思いますが、ひとつひとつ丁寧に、責任を持って対応してきたと思っております。今は、多忙などで仕方がなかったという雰囲気もあるように感じる部分もあります。このようなこともあるので、現在、市業務全体の事務の見直しを指示しております。

(記者)

都市再生緊急整備地域ですが、「相模原橋本駅周辺・相模原駅周辺地域」という名称に変更され、よくわからない名称になったと思います。字数も多くなり、わかりにくいと思いますがどう思いますか。

(副市長)

これまでは、相模原市の橋本駅周辺地域ということで、「相模原橋本駅周辺地域」でございました。今回の指定では、相模原駅周辺が追加されたこともあり、相模原市の橋本駅周辺と相模原駅周辺ということで、これまでの名称の後に「相模原駅周辺」が追加された形になったものでございます。

(市長)

いわゆるバブル経済が崩壊した後、橋本駅周辺地域で工場の跡地利用が促進されず、都市整備が進まない時期がございました。同地域は工業専用地域であり、都市計画法上、主に工場などの立地しかできませんでしたが、一方で墓地という恒久的な施設の建設のお話もでてきましたことから、駅周辺のまちづくりを緊急、かつ、本格的に取り組まなければならなくなりました。ちょうどその頃、国において都市再生緊急整備地域という制度がありましたので、国等と協議を重ね、平成15年に同制度の適用を受け、土地を高度利用できるようにしたものでございます。

当初の指定では、橋本駅南口の一部と北口地域でございましたが、約10年後の現在、リニア中央新幹線駅の設置や相模総合補給廠の一部返還と共同使用など、大きな環境の変化がありましたので、同制度の指定を拡大していただくことにいたしました。なお、橋本・相模原両駅を一体的に整備いたしますが、それぞれのまちの特長を生かせるよう、いわゆる複眼構造のまちづくりをしたいと考えております。

この指定によるメリットとして、建物を建設する際の容積率等の緩和をはじめ、まちづくりの方向性や整備内容を市が決められます。相模原・橋本両駅周辺のまちづくりについては、本年度中に策定予定の広域交流拠点整備計画がベースになると思います。また、この計画の策定後は、計画を具現化する方策も検討しなければならないと思いますので、都市再生緊急整備地域のメリットと同調させながら、まちづくりを促進してまいりたいと考えております。

(記者)

閣議決定されたものなので、国が決定するものだとは思いますが、相模原市は政令指定都市でもあり、市民にわかりやすい名称にするなど、国と調整をすることもできたかもしれません。そのような意味でも職員の意識が足りないと思いたいがかがですか。

(市長)

今後、計画を策定し、事業を行うにあたっては、市民の皆様公表すると思いたいます。その際には、市民や関係者の皆様にわかりやすいネーミングになるよう工夫したいと思いたいます。

(記者)

南区市議選の不祥事の件で、先般、人事異動もありましたが、該当職員の処分等はいつ行うのでしょうか。また、市選挙管理委員会の記者会見では、刑事告発を検討しているとのことでしたが、刑事告発については、市が行いますか、もしくは選挙管理委員会が行いますか。

(副市長)

どうするかについては、現時点では、市選挙管理委員会が決めるものと考えております。先日、神奈川県選挙管理委員会が再点検を行いましたたが、現在、その結果も公表されておいたいません。事実関係を明らかにするとともに、今後、刑事告発した場合の警察の対応なども踏まえ、処分等を検討するものだと考えております。

(記者)

現在、その職員は自宅待機しているのでしょうか。

(総務局長)

現在は、自宅勤務を命じております。明日、人事異動の辞令を交付しますので、明日から新しい職場に勤務します。

(記者)

下水道の問題では、8月中に行政監察の結果がでるとのことですが、その中で事実関係や原因究明をしきれない場合は、外部監査なども考えていますか。

(市長)

行政監察の中で、事務処理の流れや内容等の事実関係を明確にしたいと考えています。今回の不適切な事案は、職員同士の馴れ合い、気の緩み、様々なことが原因にあるとも思いたいます。現在、行政監察を行っていますが、市の内部で解決できないなど、必要があれば、外部の方をお願いをしてご指摘いただくことなども考えたいと思いたいます。現時点では、自らが事務の流れを検証し、事実を明らかにすることが大変重要だと思いたっておりますし、その結果をみて判断したいと思いたいます。

(記者)

同じ組織で職員やOB職員へのヒアリング等については、先輩と後輩の仲であり、事情聴取などをしにくいのではないかと。

(市長)

そのような問題もあるかと思いますが、内部で検証することで、担当者をはじめ、管理職などの意識改革につながっていくものと考えておりますので、まずは内部で検証を行いたいと思っております。日常の業務の中で、深く考えずに事務を行っていたことが、今回のようなミスにつながっていると思っておりますので、職員自身が確認し、見直すことが重要だと思っております。また、今回の事案では、文書決裁や事務専決の問題もありましたので、現在、見直しをするように指示しております。通常の手続きの上では、課長や部長決裁であるものや上司に報告すらしなくてもよいものもあると思いますが、事案の時期や内容によっては、市長の判断が必要になることもあります。そのような判断を適切に行えるような見直しをしなければならないと思っております。

以 上